



ふるさと応援寄附金一括業務代行・協定記念セミナー 1/15

町外者のふるさと納税による町への寄付拡充を図るため、町はサイネックス（本社・大阪市）と札幌北洋カード（本社・札幌）の2社と『ふるさと応援寄附金一括業務代行』の協定を結びました。この協定は、平成20年度に開始した「ふるさと応援寄附制度」のさらなる活用に向けて、民間企業が持つプロモーションや特典商品管理、カード決済などのノウハウを導入するもので、本年4月1日から実施します。



厚生労働大臣表彰伝達式 1/9

長年にわたり、社会福祉の発展向上に貢献した方を表彰する本年度の厚生労働大臣表彰（社会福祉功労者）を沖田忠さん（三石福畑）が受賞し、酒井町長から表彰状が伝達されました。沖田さんは農業を営む傍ら、昭和54年に延出福祉会の理事に就任。平成21年から理事長として活動し、35年の長きにわたり地域の児童福祉向上に尽力されました。沖田さんは「表彰を励みに今後も地域のために頑張りたい」と話しました。



平成27年新年交礼会 1/5

町商工会や農協、漁協などの産業団体による『新年交礼会』が静内エクリプスホテルで開かれ、町内の企業や団体などから約230人が出席し、新年の決意を新たにしました。主催者を代表して、しずない農協の西村和夫組合長が「今年は地方創生の1年。誰もが住みたがるようなまちづくりをしていこう」とあいさつ。出席者は、お互いの新年の飛躍を願いながら歓談しました。

# ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



こども文化教室 12/13~1/18

小中学生の冬休みを利用して、文化活動を体験する『こども文化教室』（町教育委員会主催）が、町公民館で開かれました。町内で活動する文化サークルの会員の協力の下、合計42人の子どもたちがお琴やガラス工芸、書き初め、陶芸、筆とお花で遊ぶなど各2回から7回にわたる教室に参加しました。子どもたちは真剣な表情で取り組みながら、さまざまな文化にふれました。



白寿祝状授与 1/12

佐藤つるよさんが白寿を迎え、入所先の特別養護老人ホーム静寿園で酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。佐藤さんは宮城県出身で、22歳で結婚し、静内豊畑で農業を営みながら、4男・2女の子どもに恵まれました。歌を聴くことが好きで、月一度のカラオケに楽しんで参加しています。この日は子がお祝いに駆けつけ、99歳の誕生日を喜びました。



冬の日の風景 1/7~10

町教育委員会によるわんぱくチャレンジスクール『冬の日の風景』が、日高町の国立日高青少年自然の家で開かれ、町内の小中学生24人が参加しました。3泊4日の期間中は、ドリル学習や集団生活をしながら、雪像作りやスノーラフティング、歩くスキーなど冬の遊びも満喫。さまざまな体験を通して、参加者同士の交流を図りながら、冬休みの楽しい思い出を作りました。



北海道社会貢献賞伝達式 12/24

長年にわたり、地方自治の振興と発展に貢献した方を表彰する本年度の北海道社会貢献賞（自治功労者）を前副町長の富田泰さんが受賞し、役場静内庁舎で伝達式が行われました。富田さんは昭和44年に旧静内町役場に入り、総務課長、総務企画部長を歴任し、平成20年に副町長に就任。財政健全化などに力を注ぎ、昨年5月に退任しました。富田さんは「役場のみなさんには合併10周年の節目に向けてまちを盛り上げてほしい」と話しました。



まちづくり懇談会 1/18~

町長が各地域に出向いて、地域住民のみなさんとお話する『まちづくり懇談会』が花園生活館で開かれ、高園自治会の方々に参加しました。2月まで町内の各地域で開催します。



新春席書大会 1/12

日本習字全日高書友会（大沢忠雄会長）による『新春席書大会』が町公民館で開かれ、日高管内の小中学生約190人が新年への思いを込めて筆をふるいました。



防災祈願セレモニー 1/7

静内消防団（阿部幸男団長）による『防災祈願セレモニー』がピュア前広場で行われ、同消防団のまとい隊が力強くまとい振りを披露し、今年一年の無災害を祈りました。



除雪ボランティア 12/24・27

松尾建設株式会社（松尾寛治社長）は地域貢献活動の一環で、重機を使って歌笛診療所前の歩道と横断歩道付近に溜まった雪の除雪ボランティアを行いました。